

## □要請番号 (JL22420A17)

募集終了



国名	職種コード 職種	年齢制限	活動形態	区分	派遣期間	派遣隊次
ドミニカ共和国	A101 コミュニティ開発	20~45歳のみ	個別	交替 3代目	2年	・2020/2・2020/3・ 2021/1

## 【配属機関概要】

## 1) 受入省庁名 (日本語)

経済企画開発省

## 2) 配属機関名 (日本語)

教育・地域促進センター  
NGO

## 3) 任地 (エルマナス・ミラバル県ビジャ・タピア市) JICA事務所の所在地 (サントドミンゴ特別区)

任地からJICA事務所までの交通手段、所要時間 (車で約2.0時間)

## 4) 配属機関の規模・事業内容

首都から北西に140kmの農村地帯で、所得水準の低い近隣農家の子弟への教育を目的とした施設。農業技術専門学校を運営するNGOとして、教育省から運営予算が配分されている。親が収入向上を求めて米国などへ出稼ぎに行き、祖父母・親戚と生活する子どもの健全な育成、就農における技術支援、各種研修を通じた生活の質向上支援などが主な役割。年間予算は2万8千米ドル。研修資金や施設整備は、大統領アボなし訪問による資金援助で、屠殺場建設、保冷施設、流通用保冷車両等の機材購入の目処が立ったところである。ともすれば同地域しか知らない貧困層子弟に対し、学習と農場での実習を指導する際に、日本の規律と農業に関する知識を指導することが求められ、要請が挙がった。

## 【要請概要】

## 1) 要請理由・背景

配属先は1997年に設立した団体で、就農支援の一環として、様々な企画を実施、生徒だけではなく近隣農家にも農業技術の支援を進めてきた。2019年1月まで活動したJVの発案で、ミミズ堆肥作りを実施、近隣農家が定期的な販売ができるに至った。その他、スペインの援助で始まったウサギ肉の販売促進事業では、飼育から食肉加工までを地域女性の雇用確保を目的に進めており、食肉加工が開始された。大統領アボなし訪問による資金援助で、屠殺場建設、保冷施設、流通用保冷車両等の機材購入の目処が立ったところである。ともすれば同地域しか知らない貧困層子弟に対し、学習と農場での実習を指導する際に、日本の規律と農業に関する知識を指導することが求められ、要請が挙がった。

## 2) 予定されている活動内容 (以下を踏まえ、隊員の経験をもとに関係者と協議して計画を立て、柔軟に内容を変更しながら活動を進めます)

- 1.ミミズ堆肥作りの運営管理の手伝いをする
- 2.環境に配慮した営農ができるように、簡単な環境教育(ごみ分別・減農薬など)を配属先と一緒にする
- 3.ウサギ飼育プロジェクトの運営へのアドバイスをする
- 4.学生、近隣農家対象に日常生活での簡単な保健指導を教師と一緒にする

## 3) 隊員が使用する機材の機種名・型式、設備等

教室、コンピュータ、机、いす、プリンタ、消耗品、飼育農場

## 4) 配属先同僚及び活動対象者

配属先学校教員 50名

配属先学校生徒 約350名(8:00~15:00、15:00~18:00の2部制)  
地域5村落関係者(生徒の保護者含む) 約300名

**5) 活動使用言語**

スペイン語

**6) 生活使用言語**

スペイン語

**7) 選考指定言語**

スペイン語(レベル:D)又は英語(レベル:D)

**【資格条件等】**

[免許/資格等]： ( )

[学歴]： ( ) 備考：

[性別]： ( ) 備考：

[経験]： ( ) 備考：

[参考情報]：

- ・農業の実務経験があるとよい

**任地での乗物利用の必要性**

不要

**【地域概況】**

[気候]： (熱帯モンスーン気候) 気温： (18~34°C位) [電気]： (不安定)

[通信]： (インターネット可 電話可 無線) [水源]： (不安定)

**【特記事項】**

任国の中でも、比較的生活環境が厳しく、衣食住を共にし地域の人と活動以外での交流がスムースにできることが求められます。住居は原則、ホームステイとなる。

**【類似職種】**